

平成 29 年度一般社団法人音楽電子事業協会 事業報告
(理事会 幹事会 運営委員会)
(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

(1) 理事会/幹事会の開催

平成 29 年度第 1 回理事会/幹事会 (平成 29 年 5 月 11 日開催)

- ・平成 28 年度 収支決算承認及び総会への付議承認
- ・平成 29 年度 収支予算 (案) 承認及び総会への付議承認
- ・平成 29 年度 役員選任の件

(2) 理事会

第 2 回 理事会 (平成 29 年 12 月 6 日開催)

- ・平成 29 年度 事業活動中間報告(各委員会状況)
- ・平成 29 年度 今期着地見込み及び来期計画策定に係る要素について(報告)

(3) 運営委員会

平成 29 年度 運営委員会 (平成 30 年 2 月 22 日開催)

- ・平成 29 年度事業報告が各委員会から報告、検討された。
- ・平成 29 年度収支着地見込みが事務局より提案、検討された。
- ・平成 30 年度事業計画案 (委員会別) が各委員会より提案、検討された。
- ・平成 30 年度事業計画案に基づき、平成 30 年度収支予算案が検討された。
- ・平成 29 年度第 2 回幹事会/第 3 回理事会及び第 7 回通常総会の予定が案内された。

(4) 理事会/幹事会の開催

平成 29 年度第 2 回幹事会/第 3 回理事会 (平成 30 年 3 月 14 日開催)

- ・平成 29 年度 事業報告
- ・平成 29 年度 収支決算 (着地見込)
- ・平成 30 年度 事業計画 (案)
- ・平成 30 年度 収支予算 (案)
- ・平成 30 年度 役員選任 (案)
- ・第 7 回通常総会・懇親会開催の件

平成 29 年度一般社団法人音楽電子事業協会 事業報告
(専門委員会)

(平成 29 年 4 月 1 日より平成 30 年 3 月 31 日まで)

(1) 製品安全・環境委員会

安全規格部会 (4 回)、環境問題研究部会 (4 回) 外部委員会出席 (JEITA マルチメディア
EMC 専門委員会、JBMA 第 108 委員会、電気用品調査委員会電波雑音部会)

事業報告

両部会による情報収集及び情報提供を通じて、各社製品の製品安全及び環境問題への対処
活動に活かすことができた。

主な情報交換の要点は次の通り

〈 安全規格 〉

- ・ IEC62368-1 第 3 版発行に向けた審議情報
- ・ IEC 規格の JIS 化審議情報
- ・ 電安法：該当非該当事例
- ・ 電安法：電源コードセット及び部分品の取扱
- ・ 電安法：法令実務実施ガイド改定版
- ・ EN62368-1 強制化延期
- ・ UL の導電体固定要求の運用強化
- ・ 中国：強制規格の推奨規格への転換と移行期限
- ・ 中国：認証実施細則の改正
- ・ 韓国：電安管理運用要綱改正 安全確認の有効期限廃止
- ・ インド：AV 機器の安全規格更新 IS616：2017
- ・ インド：強制品目第 3 段階リスト発行
- ・ インドネシア：強制品目拡大の TBT 通報
- ・ フィリピン：安全認証改定案の AV 機器対象範囲拡大

〈 EMC 〉

- ・ CISPR16-2-3 EUT テストボリュームサイズの検証動向
- ・ CISPR32/35 の動向
- ・ CISPR35 の国内答申と JEITA 規格化
- ・ VCCI の対象範囲拡大

〈 その他 〉

- ・ ベラルーシの省エネ規制
- ・ AMEI EuP ガイドライン Ver1.0 の見直し要否

〈 環境関連規制 〉

- ・国内 3R、化審、化管法関連
- ・欧州 RoHS2 除外対象とサービスパーツの扱い
除外規定更新（バック 9 の一部）
REACH SVHC 更新
ANNEX XVII Ni/PAHs 規制範囲の拡大
スウェーデン化学物質課税法
- ・中国 REACH 草案公開
規格体系変更（GB から GB/T へ）
台湾 RoHS 品目追加、表示解釈
- ・米国 TSCA title VI 公布（CARB からの移行問題、表示解釈）
CPSC 有機難燃剤規制の動向
Ca 州 Proposition 65 警告表示に対する解釈
カナダ Formaldehyde 規制の動向
- ・化学物質管理関連
chemSHRPA の動向
フタル酸エステル規制に拡大
- ・その他
紛争鉱物資源規制など

その他報告

懸案となっていた AMEI EuP ガイドライン見直しの検討をはじめました。
ネットワークスタンバイの追記など現行法に合わせた改訂を考えています。

(2) MIDI 規格委員会

委員会 1 回、1.0 部会メール審議、技術研究部会 7 回、FME-CI WG5 回、MIDI 国際標準化 WG メール審議、MIDI Developer Relations WG 5 回、AMEI/MMA 合同会議 1 回、MMA 総会オブザーバー参加

【 MIDI1.0 部会 】

- ・ TSB #212: MPE(MIDI Polyphonic Expression)審議。MMA 側で規格化を急ぎたいとの希望があったため、MMA/AMEI オフィシャル会合にて、AMEI 側からの修正要請事項を盛り込む条件で事前承認。MMA 総会にて投票が行われ、可決した。今期中にサイン取り交わしを行い RP/CA 成立予定。
- ・ TSB #215: 2017 年 11 月に TRS プラグ・ジャックを MIDI コネクターとして使用する提案が MMA より出された。3.5mm (ミニプラグ) と 2.5mm (ミニミニプラグ) のどちらの使用も認めるが、2.5mm を推奨する提案が出ている。位置づけ (MIDI 規格の DIN と同等とするか、あくまで DIN を補完するものとするか) の議論を行っている。

【 MIDI 国際標準化 WG 】

- ・ IEC の国際規格ドキュメントとして 2017 年 6 月に発行されたが、一部誤植があり修正を依頼。12 月修正確認完了。これで MIDI 国際標準化作業はすべて終了。
- ・ 国内:JEITA TA-10 は、2017 年 4 月より今後もオブザーバー参加出来る形で継続。

【 技術研究部会 】

- ・ HD-Protocol
NAMM2017 直後に MMA より HD WG F2F meeting にて HD Lite が提案されたが、AMEI は Profile Exchange / Property Exchange を含む MIDI-CI の策定とデモの制作を優先した。ただし、FME では Future Protocol は構想に入っている為、今後はより積極的に関与していく方向に転換する。

【 MIDI Developer Relations WG 】

- ・ 10/6 に Web Music デモ・パーティを渋谷のヒカリエで開催。
Web Music Developers JP 主催、AMEI 共催の形式。事前依頼の 3 チームによるデモ、一般公募で集まった 5 名のデモなど 40 名が参加。Web MIDI API の周知に役立った。

【 FME-CI (Future MIDI Extension Capability Inquiry)WG 】

- ・ MIDI-CI は、既存の MIDI1.0 規格との互換性も維持しつつ、相互ネゴシエーションを行い、機器同士が対応可能な範囲で転送レート変更や、新たなメッセージ体系での送受信、あるいは接続機器同士の音色ライブラリ情報交換などが出来る仕組み。
- ・ AMEI 提案の後、2018 年 NAMM での MMA 総会で承認された。
- ・ MMA 総会にて、AMEI より MIDI-CI のイメージビデオ紹介ならびに楽器メーカー 3 社の相互接続デモを実施、多くの関係者が参加。

【 その他報告 】

- ・ AMEI 保有商標について
登録済み商標の更新時期が来たため、経費削減も行いつつ保有商標数の見直しを行い、MIDI の基本的な名称・ロゴと、MIDI ライセンス他 4 パターンを新たに 10 年続とした。それ以外は放棄する。
- ・ 新規システム・エクスクルーシブ ID 会員事業について
AMEI で新たにシステムエクスクルーシブ会員枠を設置する方向で提案を行った。
- ・ 2018/1/20～1/26 の期間で NAMM2018 ツアーを実施
今年度もヤマハ、コルグ、クリムゾンテクノロジーの 3 社、11 名が参加。
- ・ MPE(MIDI Polyphonic Expression)が規格成立
- ・ MIDI-CI が規格成立

(3) 著作権・ソフト委員会

「著作権・ソフト委員会」定例会 10 回(詳細別紙)

毎月の委員会定例会を通じて情報提供、意見交換、決議を実施

「カラオケ部会」14 回

業務用通信カラオケに係る使用料問題等の検討、NexTone との協議を実施

「音楽配信部会」11 回、NMRC 関連会議・協議への参加 5 回、計 16 回

NMRC(実務 WG 含む)を通じて管理事業者との使用料協議、実務トラブルの解決

「ソフト規格部会」5 回(WG 開催含む)

電子楽器に係わる知財保護、海外のビジネス等に関する調査研究

「音楽電子出版部会」8 回

電子楽譜に関わる市場動向調査・新規ビジネス提案企業からヒアリング実施

「管理事業法研究 WG」2 回

施行規則の一部改正省令案に対するパブリックコメント内容の検討

「CDC(Copyright Data Clearinghouse)との連携」

オブザーバーとして委員会定例会と NMRC 協議等に参加

「その他」

- ・早稲田大学創造理工学部 AMEI 連携講座を開催 (2017 年 10 月から半期)
- ・DRM 部会は活動なし。今期限りで解散とする。

事業報告

(全体)

- ・「著作権等管理事業法施行規則の一部を改正する省令案」(2017/6/27 公示)に関するパブリックコメントに対して意見書を提出した

(部会)

【カラオケ部会】

- ・JASRAC との使用料規程第 10 節「業務用通信カラオケ」の改訂に関する検討。
- ・NexTone との使用料規程の取扱いに関する協議。
 - 当協会加盟カラオケ事業者が締結する利用許諾契約について、以下の各期間につき、暫定的な取扱いについての合意形成後、かかる合意書を各々締結した。
 - ① 2016 年 10 月 1 日～2016 年 12 月 31 日
 - ② 2017 年 1 月 1 日～2017 年 3 月 31 日
 - ③ 2017 年 4 月 1 日～2017 年 6 月 30 日
 - ④ 2017 年 7 月 1 日～2017 年 9 月 30 日

【音楽配信部会】

- ・NMRC を通じて JASRAC 等音楽著作権管理事業者との協議を実施、又関連団体との意見交換を実施。(JASRAC との意見交換 2 回、NexTone との遡及徴収等実務取り扱いに関する協議 3 回、音楽配信部会の開催 11 回)

< JASRAC >

- ・動画サブスクリプションをテーマに NMRC を中心とする協議団を結成して協議中
- ・継続議題の最低月額使用料については、書面による意見交換を実施中

- ・音声投稿サービスへのサブスクリプション規定適用案件について、過去の NMRC の協議経過を参照し助言する活動を実施
- ・「お預かりサービス」、延長について合意
- ・音楽電子出版部会と連携して可視的利用に関する規程及び取り扱いを検討

<NexTone>

- ・ダウンロードサービスにおける遡及徴収開始にあたり、運用方針擦り合せのための NMRC 実務 WG と NexTone の協議に同席
- ・NexTone の PlayN システムのマニュアルのアップデートや許諾番号掲載ルールの明確化についても調整中

【ソフト規格部会】

1.<部会/GCP-WG>著作権に関する調査研究、音楽電子事業に係る知財情報の共有

- ・JASRAC による音楽教室からの演奏使用料請求に関する情報交換
- ・文化審議会著作権分科会での審議内容に関する情報共有
- ・電子楽器内蔵コンテンツ等の保護に関する検討として、以下を実施した。
- ・違法複製/頒布などコンテンツ侵害事例と対処例の情報交換
- ・「AMEI は電子楽器内蔵コンテンツについてこう考えます」の改訂着手

2.<海外ビジネス展開 WG>海外の著作権制度及び集中管理制度の研究

- ・日本国内で展開している、もしくは日本国内で開始予定がある海外事業者のサービスを検討し、著作権等管理事業者とも情報を共有する。

【音楽電子出版部会】

1.電子書籍や電子楽譜に関わる情報の共有。これら事業を展開する企業を招いてヒアリングを行うなどの情報収集実施

2.次世代の音楽電子出版ビジネスにおける業界共通の課題と対応方法につき議論した<情報共有>

- ・フランクフルトミュージックメッセ、コンテンツ東京 2017 等での電子書籍関連情報レポートおよび海外デジタル楽譜サービス動向についての共有

<ディスカッション、業界調査・研究>

- ・著作物使用料規定、電子楽譜料率協議にむけたディスカッションと資料作成
- ・楽譜利用実態調査についてのディスカッションと調査設計
- ・会員各社の製品・サービス紹介（㈱河合楽器製作所 / ㈱シンクパワー）

【管理事業法研究 WG】

- ・著作権等管理事業法施行規則の一部を改正する省令案に関するパブリックコメントに関する検討後、提出した。

【その他】

- ・早稲田大学創造理工学部連携講座「国際コンテンツビジネスと著作権」開催

(委員会定例会 開催日・議事一覧)

日時	主たるテーマ	備考
① 4月13日 (13:30~15:00)	1. 当委員会の体制変更 (備考参照) 2. 事務局および各部会報告 3. 委員交代：(株)第一興商(鎌田→鴨田)	委員長(新任)： 三沢洋一(ヤマハ株) 副委員長(新任) ・カラオケ部会長： 渡邊毅(株)第一興商
② 5月18日 (13:30~15:00)	1. 定例会議議長に遠藤(ヤマハ株)就任 2. 総会実施報告 3. 事務局および各部会報告 ソト・規格部会長に伊藤(ローラント株)就任	副委員長・音楽配信 部会長： 堀江康明(株)エクソグ
③ 6月8日 (13:30~15:00)	1. 事務局および各部会報告 2. 管事法 WG：パブコメ作成作業開始	
④ 7月13日 (13:30~15:00)	1. 事務局および各部会報告 2. 管事法 WG：パブコメ作成進捗報告 3. 早稲田大学造理工学部連携講座の告知	
⑤ 9月14日 (13:30~15:00)	1. 事務局および各部会報告	
⑥ 10月12日 (13:30~15:00)	1. 事務局および各部会報告	・早稲田創造理 工学部連携講座スタート
⑦ 11月9日 (13:30~15:00)	1. 事務局および各部会報告 音楽電子出版部会長に綱島(株)ヤマハミュージック エンタテインメントホールディングス)就任 2. 管事法 WG：法改正報告	
⑧ 12月12日 (15:30~16:30)	1. 事務局および各部会報告 2. 新規入会：(株)nana music (辻川)	・忘年懇親会実施 (参加57名)
⑨ 29年2月8日 (13:30~15:00)	1. 事務局および各部会報告 2. CDC オブザーバー変更(千葉→善浪) 3. NAMM ショー報告(株)エフ・エヌ・エス)	・NAMM ショー (1月/米国 L.A.)
⑩ 29年3月8日 (13:30~15:00)	1. 事務局および各部会報告	

(4) メディアコンテンツ委員会

- ・ 小岩井ことりさんの MIDI 検定 1 級取得インタビュー協力 (6/26)
尚美学園大学川越キャンパス 古山研究室にて取材実施

(5) MIDI 検定委員会

【平成 29 年度 MIDI 検定試験】

「第 9 回 MIDI 検定 1 級試験」8 月 11 日～21 日実施

「第 20 回 MIDI 検定 3 級試験、第 19 回 MIDI 検定 2 級 1 次（筆記）試験」

12 月 3 日実施

「第 19 回 MIDI 検定 2 級 2 次試験」2 月 24 日～26 日実施

【平成 29 年度指導者認定講座】

「MIDI 検定 4 級指導者認定講座」 東京会場 6 月 11 日、大阪会場 6 月 18 日

「MIDI 検定 3 級指導者認定講座」 東京会場 7 月 16 日、大阪会場 7 月 23 日

「MIDI 検定 2 級指導者認定講座」 東京会場 9 月 17 日、大阪会場 9 月 24 日

【その他】

・MIDI 検定 4 級対応書籍：ミュージックメディア入門を改定し、
ミュージッククリエイター入門（MIDI 検定 4 級対応ガイドブック）
として、2017 年 5 月販売開始

・MIDI 検定告知のため、DTM ステーションに記事広告を依頼

1. 声優の小岩井ことりさん、超難関の MIDI 検定 1 級もトップ
合格だった！

2. 学生や研究者が MIDI をテーマに調査・研究？MIDI が持つ
社会的意義とは

の 2 件を掲載

(6) 事業委員会

(7) 広報委員会

委員会（AMEInews 編集会議） 3 回 開催

セキュリティ強化対策の検討会議 1 回 開催

事業報告

○ 会報『AMEI News』発行 3 回

◆ Vol.62 2017年 5月2日 発行

- ・ 第20回NAMMビジネスツアー報告
- ・ MIDI規格委員会 FME-CI WG報告
- ・ MIDI検定試験実施結果報告
- ・ 著作権・ソフト委員会報告
- ・ AMEI会員名簿・第6回通常総会と懇親会開催のお知らせ 等

◆ Vol.63 2017年 8月2日 発行

- ・ 一般社団法人音楽電子事業協会第6回通常総会報告
- ・ 平成29年度事業計画
- ・ 平成29年度役員名簿・組織図
- ・ MIDI規格委員会報告 IEC国際標準化完了報告
- ・ 環境問題研究部会報告・ローズウッド全種にワシントン条約による輸出入規制
- ・ 著作権・ソフト委員会報告・著作権等管理事業法について
- ・ AMEI会員名簿 ・MIDI検定1級告知 ・総会議事録の開示 等

◆ Vol.64 2018年 2月6日 発行

- ・ M I D I 規格委員会報告
- ・ 著作権・ソフト委員会報告
- ・ 製品安全・環境委員会報告
- ・ AMEI会員名簿
- ・ MIDI検定2級2次試験開催のお知らせ

◇ AMEI ホームページ運営

- ・ 委員会からのお知らせ
- ・ AMEI NEWS
- ・ AMEI 出版物
- ・ 仕様書ダウンロード
- ・ 会員専用ページ
- ・ What's new、information

◇ セキュリティーの強化

- ・ WEB サーバーSSL(暗号化通信)の証明書の更新 (1月)
- ・ 個人情報の取扱状況確認